

伊豆東海岸都市圏都市交通マスタープラン

伊豆東海岸都市圏総合都市交通体系調査

都市交通マスタープランは、概ね20年後の都市圏の将来像を見据えた都市交通の基本計画です。人口減少や少子高齢社会の本格化に対応した「コンパクト＋ネットワーク」の構築に向けた交通施策の展開を提案しています。

都市交通マスタープランの内容

【目指す都市交通像】

都市拠点と生活拠点が有機的に連絡された持続可能な都市圏の形成

人口減少や少子高齢化が進展する中、持続可能な都市圏の形成に向けて、観光産業を中心とした都市圏外との交流を促進するとともに物流や医療活動の支援など、安全、安心な地域生活を支える交通ネットワークの構築を目指します。

【都市交通体系の基本方針と戦略・施策】

目指す都市交通像の実現に向け、都市交通体系の基本方針を「地域公共交通」「観光交流」「広域的な移動ネットワーク」「安全、安心」の大きく4つの視点から設定しました。また、基本方針に基づく4つの戦略を設定し、各戦略に沿った交通施策を展開します。

方針Ⅰ 持続可能な暮らしを支える地域公共交通の維持、確保

戦略1 生活を支える「安全、快適な交通環境」の確保

方針Ⅱ 地域資源を活かした活発な観光交流を生み出す交通環境の充実

戦略2 世界に誇る「観光モビリティサービス」の構築

方針Ⅲ 交流、連携を促進する広域的な移動ネットワークの構築

戦略3 広域連携、交流を支える「都市連携軸」の強化

方針Ⅳ リスクに備えた安全、安心な交通環境の確保

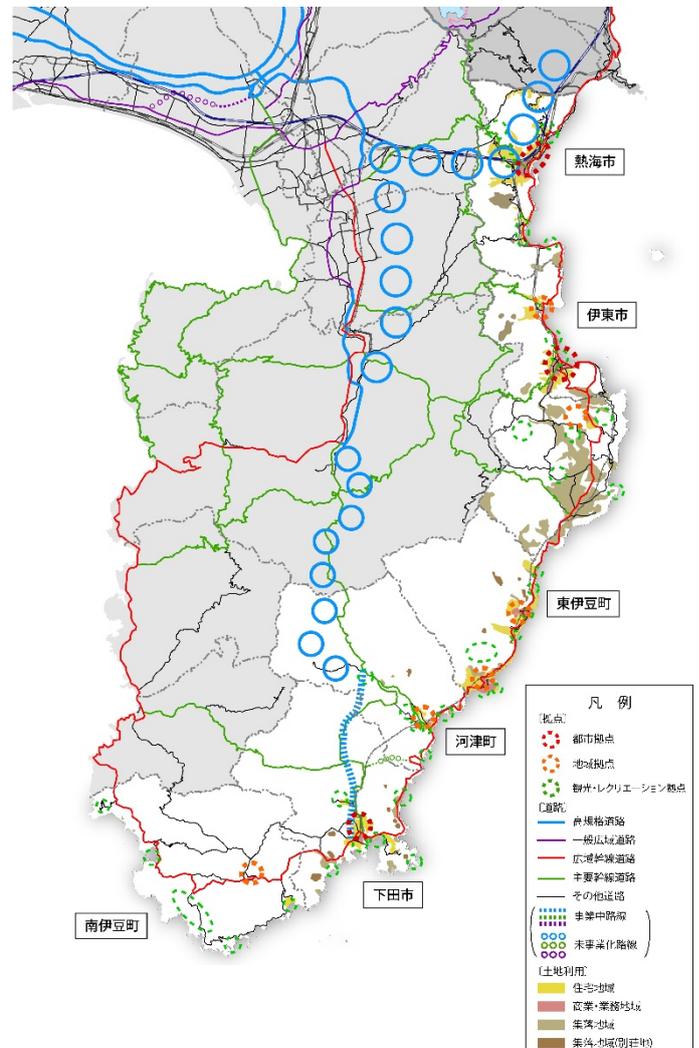
戦略4 命をまもる「防災、減災機能」の強化

【主な交通施策】

- ・ 道路空間を活用したまちなか回遊性の向上
- ・ 地域の核となる交通結節点の構築
- ・ 公共交通ネットワークの維持
- ・ 域内交通との連携による観光二次交通の充実
- ・ 新たなモビリティサービスの活用
- ・ ICTの活用による多様な交通手段が連携した交通システムの構築

【道路網計画】

都市圏内外の広域的な交流の促進や、都市拠点と地域生活拠点間の交通需要に対応した、走行性の高い「骨格幹線道路網」を形成します。



- ・ 広域道路、広域幹線道路の強化
- ・ 物流や地域間連携を支えるネットワークの機能強化
- ・ 広域交通結節点の機能強化
- ・ 事前都市復興計画策定等の推進
- ・ 情報提供、代替手段の確保

7. 都市交通マスタープランの展開

7-2 都市交通マスタープランの展開に向けた取組

(1) 取組方針

□ 都市交通マスタープランの展開により、目指すべき都市交通像の実現に向けた取組を進めます。

- 積極的な周知により、**都市交通マスタープランの情報共有**を図ります。
- 幅広い意見を取り入れるために、**住民、事業者等と行政の協働**を進めます。
- 関係者が協力し、**相互に連携した推進体制**のもと施策に取り組みます。
- 今後期待される**技術革新等にも柔軟に対応**し、適時適切に施策を見直します。

(2) 推進体制

